

中国新聞

発行所 広島市中区土橋町7番1号 〒730-8677
中国新聞社 電話(082)236-2111(受付案内)
中国新聞デジタル https://www.chugoku-np.co.jp/



購読・試し読みは 0120-492-506

210日 内閣改造・党人事

首相、政策推進へ前倒し。党の麻生・茂木氏の統投固まる。

6 前例踏襲で後方に隙

安倍元首相銃撃事件で警察庁検証。1発目の銃声認識できず。

田 関う原爆詩人 最晩年

広島で発見の峰三吉直筆書簡 約50枚。読み解き心情的。

田 盈進、新たな歴史へ

夏の甲子園。あす鶴岡東と初戦。守り勝つ野球で大舞台。

5 社説

ヒロシマ77年 12 シネマ 13 くらし 14 リペアラ

紙面へのご意見・ご要望は 読者広報部 ☎082-236-2455

情報 交差点

10面に掲載

繁華街惨状伝える7枚

被爆間もない9月までのカットも

1945年8月6日、米軍が投下した原爆で壊滅した広島市中心部の繁華街などの惨状を収めた写真7枚が、広島市西区の被爆者の下田博章さん(95)から本紙に寄せられた。亡き叔父から生前にもらったという。被爆から間もない9月までの撮影とみられる原爆写真の中でも比較的早い9月までの撮影とみられるカットが含まれており、原爆資料館(中区)は被爆の実態を知る上で貴重な資料だとしている。下田さんは写真を同館に寄贈する。(編集委員 水川恭輔)



市民が撮影 貴重な資料



7枚の写真のうち5枚は、戦前から繁華街だった八丁堀(現中区)周辺の様子や記録。爆心地から約700mにあった百貨店の福屋新館(現八丁堀本店)周辺の焼け跡や、同館の近くで全焼した中国新聞社、呉服問屋の小田政商店のあめのように曲がった鉄骨などを収めた。

下田さんによると、写真は現在の安佐北区出身の叔父中野忠志さん(92年)に79歳で死去。から約40年前

中国軍艦、海峡中間線越え

演習2日目 台湾に威嚇継続

【台北共同】松岡誠(台湾) 国防総省は5日、中国軍の航空機と艦船が台湾海峡で演習を実施し、海峡の中間線を台湾側に越えたと発表した。ペロシ米下院議長は訪台に反対し中国軍が行っている2日目の大規模軍事演習の一環。中国軍艦が中間線を越えるのは極めてまれ。前日の弾道ミサイル発射に続く軍事的な示威行動で、国防部は「極めて挑発的な行為だ」と非難した。(2面に関連記事)

中国外務省は、米国の軍事分野における対話や司法兵助、気候変動問題での協力を停止すると発表し、米中関係の一層の悪化を警告した。

台湾国防部によると、5日午後5時(日本時間同6時)時点で、中国軍の航空機延べ68機と艦船13隻が演習を実施、一部が中間線を台湾側に越えた。

中国軍の「瀟湘」や「スホイ30」など戦闘機22機は3、4日の連日、中間線を台湾側に越えて飛行している。中国軍東部戦区も5日、「計画に従い、台湾北部、南西部、東部の空・海域で実戦式の統合演習を続け」と発表した。

台湾の蔡英文総統は5日、中国の大規模演習を無責任だと非難し「中国に自制を求めたい」と強調した。

8日の朝刊とS.E.L.E.C.T.は休みます

8日(月)は新聞休日です。朝刊とS.E.L.E.C.T.は休ませていただきます。ご了承ください。中国新聞社

8・6関連

15	3	6	11
26	30	31	12

核兵器も戦争もない世を

広島きょう原爆の日

広島は6日、米軍による原爆投下から77年となる原爆の日を迎える。ロシアのウクライナ侵襲を受け核兵器を増やす国際情勢が厳しさを増す中、広島市は午前8時から平和記念公園(中区)で原爆死没者慰霊式・平和祈念式(平和記念式典)を営む。亡き人を悼み、核兵器も戦争もない世界を願う一日となる。

式典には、地元選出の岸田文雄首相が就任後初めて出席。国連トップとして12年ぶりにグテレス事務総長も参加する。

松井一実市長と遺族代表2人が、この1年に死亡が確認された広島市の被爆者4978人の名前を記した原爆死没者名簿を原爆慰霊碑に奉納。名簿は123冊、計33万3907人になる。

原爆投下時刻の午前8時15分に、遺族代表の米田慎志さん(46)と西区区長、こども代表の竹屋小6年外本陽彦さん(12)と中区区長が「平和の鐘」を突き、全員一日となる。

原爆投下から77年となる原爆の日を迎える。ロシアのウクライナ侵襲を受け核兵器を増やす国際情勢が厳しさを増す中、広島市は午前8時から平和記念公園(中区)で原爆死没者慰霊式・平和祈念式(平和記念式典)を営む。亡き人を悼み、核兵器も戦争もない世界を願う一日となる。

式典には、地元選出の岸田文雄首相が就任後初めて出席。国連トップとして12年ぶりにグテレス事務総長も参加する。

松井一実市長と遺族代表2人が、この1年に死亡が確認された広島市の被爆者4978人の名前を記した原爆死没者名簿を原爆慰霊碑に奉納。名簿は123冊、計33万3907人になる。

原爆投下時刻の午前8時15分に、遺族代表の米田慎志さん(46)と西区区長、こども代表の竹屋小6年外本陽彦さん(12)と中区区長が「平和の鐘」を突き、全員一日となる。



東京市場 (5日)

対ドル	133.30-133.32	(0.85円高)
対ユーロ	136.41-136.45	(0.13円高)
日経平均	2万8175.87	(243.67円高)
TOPIX	1947.17	(16.44円高)

株 式

天風録

「こわいをして、へいわがわかった」。ことしの沖繩全戦没者追悼式で、7歳の少女の詩は聞く者の胸を突いた。その詩心をかきたてた「こわくてかなしい絵」こそ、広島ゆかりの画家丸木位里、俊夫妻の「沖繩戦の図」だった。制作に当たり、夫妻は160冊を超える本を読み込んだという。集団自決の場に居合わせたなど死線を越えた体験を聞き取る際は、現火をかき取り火に点く。いかだで浮かべ、鎮魂と平和への願いを発信した。被爆者健康手帳を持つ被爆者厚生労働省によると、被爆者の健康手帳を持つ被爆者

平安祭典 広島

☎(082)295-1111

日	天	雲	雨	風	湿度
6日(土)	☁	☁	☁	☁	30
7日(日)	☁	☁	☁	☁	40
8日(月)	☁	☁	☁	☁	20
9日(火)	☁	☁	☁	☁	20
10日(水)	☁	☁	☁	☁	20
11日(木)	☁	☁	☁	☁	20
12日(金)	☁	☁	☁	☁	20

【概況】6日は、南から湿った空気が流れ込む見込み。中国地方では、多少晴れ間が出るくらいで、雲が広がったりしやすいだろう。雨の降る所もあり、雷を伴って激しく降る恐れもあるため、雨の降り方や落雷、突風に注意が必要だ。

ちゅーピーと学ぼう!

韓国の旧正月を何と言うかな?

①ソウル ②ソルラル ③オリニナル

出題 広島なぎさ中1年 豊田 真央さん

答えは新聞のどこかにあるよ。ちゅーピーを探してね!

この世界の片隅に

定価 1,870円(税込)

すずは広島島の江波に生まれた、絵の得意な女の子。昭和19年2月、18歳で広島から奥にお嫁に行ったすずは、戦時下の日常を、くらしに工夫をしながら、前を向いて生きていく。だが、昭和20年になると、すずは異例のロングランを記録した長編アニメが、絵本になりました。

徳間書店 〒141-8202 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒セントラルスクエア ☎049-293-5521(受付センター)

へいわってどんなこと?

定価 1,650円(税込)

へいわってどんなこと? きつね、へいわってこんなこと...。せんそうをしない、ばくだんなんかおどさない、あさまでぐっすりねむる。いろいろな視点から平和と大切なものについて考えます。「日・中・韓 平和絵本」シリーズの一作です。

童心社 〒112-0011 東京都文京区千石4-6-6 ☎03-5976-4181

字のないはがき

定価 1,650円(税込)

疎開することになった小さな妹に、お父さんは「元気な日は〇(マル)」を書いて出すようにととくさんの葉書を託しますが、脚本作家の作家の向田邦子、自身の家族の戦争体験をつづった「字のない葉書」。この名作を直木賞作家の二人の女性が絵本としてよみがえらせた。

小学館 〒101-0062 東京都千代田区一ツ橋2-3-1 ☎03-5281-3555(読者サービスセンター)

聞かせて、おじいちゃん

定価 1,650円(税込)

話したくない。6年生で被爆してから59年間の心の奥底に閉じこめてきた原爆の記憶。おじいちゃん、その暗い記憶をいかに聞いて、語り部となったのか。その暗い記憶をつづったのは、祖父の語りをどのように聞いたのか。第46回日本児童文芸家協会賞受賞作。

国土社 〒110-0013 東京都文京区音羽 1-17-18 護国寺SIAビル6階 ☎03-6272-6125

8時15分

定価 1,650円(税込)

1945年8月6日午前8時15分、広島で原子爆弾が炸裂。至近距離で被爆しながらも失念と困難の時を「許す心」で生き抜いた父の壮絶な物語を娘が紡ぐ。本書原作の米ドキュメンタリー映画「8時15分 ヒロシマ父から娘へ」、シネマ映画ドットコムで配信。

講談社エディトリアル 〒112-0013 東京都文京区音羽 1-17-18 護国寺SIAビル6階 ☎03-5319-2171

非戦の誓い

定価 1,980円(税込)

武力で戦争は防げない。戦争をなくす力を何に求めるべきか。ロシアのウクライナ侵略でわかった憲法9条の世界的意義。全国各地にある「9条の碑」をめぐる、連れた人々の「9条の旅」に、いざ出かけよう。

あけび書房 〒120-0015 東京都足立区足立1-9-10-703 ☎03-5888-4142

平和について考える一冊

ヒロシマ・ナガサキ被爆77年

次代に託す平和への願いをこめて

長崎新聞社 中国新聞社 共同広告企画 企画・制作:中国新聞社東京支社営業部